

大学創設25周年です

記念事業を校友会が計画

会員名簿の刊行

母校創設の四半世紀を祝おう。六月十四日、校友会の常任理事会、理事会を開催。平成二年度予算編成に際して、追手門学院大学創設二十五周年記念事業の実施を求める意見が大勢を占めました。これを受けて協議の結果、①校友会会員名簿の発行②作家・宮本輝氏の記念文庫を大学図書館に寄贈、設置③二十五周年祝賀会④国際交流事業⑤校友会旗、支部旗の作成——などの事業骨子がまとまり、予算付けを行って承認しました。

校友会会員名簿の発行についてですが、これは校友会が卒業生の動向を常に、最新の状態で保存しておくという使命から行うものです。確かに名簿を発行すれば、心ない一部の入から商業ベースに名簿が流れ、モノ売りに悩まされる——といった声があるのも十分承知しています。校友会事務局としても現在まで、卒業生と偽って購入を申し入れるチェックは厳重に行ってきたています。あとは卒業生みなさんの個人の良識を信用したいと考えて、名簿の発行に踏み切りました。

前回の発行から五年を経過していることから、会員間で連絡を取り合

発行者
☎567
茨木市西安威2—1—15
追手門学院大学校友会
会長 関 謙 二
☎0726-43-5421 内線451
編集者
佐 藤 新 二
© 1990

いたい善意の人たちのため、今回名簿の精度を上げて応えていきたいのです。最近、校友会と関係のない営利を目的とする人から、名簿を発行する——と文書が届き、みなさんを戸惑わせていることもあります。信頼出来る卒業生のデータは、他の誰でもなく校友会が保存していかねければなりません。それに応えることが、他大学に見られるような結束の固い校友会を結成していく道だと信じています。

まだまだ母校の名を出すのが恥しいという人もいるようですが、みなさんそれぞれが、社会に出て活躍することと合わせ、在学生それぞれが目的を見つけていき、大学がそれらの人たち一人一人に応える学校経営をし、相乗効果を上げる時、校友会の果たす役割は一層大きくなるので

宮本輝文庫を 図書館に寄贈

本学卒業生でベストセラー作家・宮本輝氏の、『青が散る』の舞台が本学だということは、みなさん方ご高承の通りです。折あることに追手門学院大学の名を出し、世間一般にPRして頂いている宮本氏の著書が、本学図書館で他の作家と同列の棚に並んでいるのです。「宮本輝文庫」の設置は、そんな疑問のなかから提案されてきました。

宮本氏を追手門学院大学が生んだ誇れる卒業生の一人として、在学生たちにもっと知ってもらおう——とする目的で、宮本氏の著書をすべて揃え、専用書棚でワンコーナー設けたいのです。大学図書館は間もなく、拡大移設されます。それに合わせて閲覧スペースを確保して頂ければ幸いです……。話し合いが進むなかでは、なんとか宮本氏にお願いして、揃う範囲で初版本が寄贈出来ればいいナー——といった声も出ていました。

校友会会員名簿を刊行

追手門学院大学創設二十五周年を記念して来年六月、校友会会員名簿を刊行致します。すでに会員名簿調査票が、皆さんのお手許に届いていることと思います。現在、登録されている内容に訂正がある方は、早急に同封しております返信用ハガキに記入頂き、訂正のない会員も本会事務局までご返送下さい。

祝賀会も計画

創設二十五周年祝賀会は、卒業生たちが集う学年を問わない懇親会となれば——と考えています。大学側では、二十五周年としての記念事業の構想はないようなので、校友会の主催で検討します。

ただ集って終わりではなく、文化的行事を盛り込んだり、記念品の贈呈も考えています。このほか、二十周年記念として設立した、一号館前の天野利武初代学長胸像の周辺整備なども、今後検討課題として機関で協議すると思われれます。



平成元年度 消費収支計算書

自 平成元年 4 月 1 日

至 平成 2 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
(収入の部)			
会 費	18,000,000	17,920,000	80,000
受 取 利 息	4,000,000	7,929,799	△3,929,799
雑 収 入	0	51,500	△51,500
収 入 の 部 合 計	22,000,000	25,901,299	△3,901,299
(支出の部)			
一 般 経 費			
人 件 費	1,000,000	1,083,060	△83,060
会 報 印 刷 費	1,000,000	800,928	199,072
そ の 他 の 印 刷 費	1,000,000	257,992	742,008
通 信 費	2,500,000	2,972,688	△472,688
交 通 費	100,000	820	99,180
消 耗 品 費	20,000	65,146	△45,146
会 議 費	200,000	198,761	1,239
慶 弔 費	50,000	112,740	△62,740
新入会員登録・住所変更等名簿完備費	1,500,000	0	1,500,000
総 会 費	500,000	0	500,000
雑 費	50,000	5,500	44,500
卒 業 記 念 品 代	120,000	142,140	△22,140
学 友 会 活 動 援 助 費	500,000	500,000	0
大 学 祭 援 助 費	100,000	100,000	0
大 学 祭 行 事 参 加 費	100,000	0	100,000
支 部 設 立 準 備 費	200,000	0	200,000
公 租 公 課	800,000	1,578,011	△778,011
特 別 経 費			
将 軍 山 会 基 金 繰 入	5,000,000	5,278,172	△278,172
将 軍 山 会 基 金 2 繰 入	5,000,000	5,000,000	0
〔予 備 費〕	1,500,000	0	1,500,000
支 出 の 部 合 計	21,240,000	18,095,958	3,144,042
当 年 度 消 費 収 支 超 過 額	760,000	7,805,341	△7,045,341
前 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	12,542,408	12,542,408	0
翌 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	13,302,408	20,347,749	△7,045,341

監 査 報 告 書

私ども監査役は追手門学院大学校友会の平成元年 4 月 1 日から平成 2 年 3 月 31 日までの貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書について監査した。

この監査にあたり私ども監査役は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠、通常実施すべき監査手続きを実施した。

監査の結果、貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書は、校友会会則に従い、校友会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。

平成 2 年 5 月 8 日

平成 2 年度 校友会消費収支予算書

自 平成 2 年 4 月 1 日

至 平成 3 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	予 算 額
(収入の部)	
会 費	18,000,000
受 取 利 息	4,000,000
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	22,000,000
(支出の部)	
一 般 経 費	
人 件 費	1,000,000
会 報 印 刷 費	1,000,000
そ の 他 の 印 刷 費	1,000,000
通 信 費	2,500,000
交 通 費	100,000
消 耗 品 費	20,000
会 議 費	200,000
慶 弔 費	50,000
新入会員登録・住所変更等名簿完備費	1,500,000
総 会 費	500,000
雑 費	50,000
卒 業 記 念 品 代	120,000
学 友 会 活 動 援 助 費	500,000
大 学 祭 援 助 費	100,000
大 学 祭 行 事 参 加 費	100,000
支 部 設 立 準 備 費	200,000
公 租 公 課	800,000
特 別 経 費	
大学創立25周年記念事業	4,000,000
校 友 会 会 員 名 簿	(2,500,000)
記 念 文 庫	(500,000)
記 念 パ ー テ ィ ー	(500,000)
国 際 交 流 事 業	(500,000)
将 軍 山 会 基 金 繰 入	5,000,000
将 軍 山 会 基 金 2 繰 入	5,000,000
〔予 備 費〕	1,500,000
支 出 の 部 合 計	25,240,000
当 年 度 消 費 収 支 超 過 額	△3,240,000
前 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	20,347,749
翌 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	17,107,749

追手門学院大学校友会

監事 宮 本 幸 治

監事 森 嘉 一

校 友 会 貸 借 対 照 表

平成 2 年 3 月 31 日

(単位：円)

借 方	貸 方
資 産 の 部	194,829,775
1. 流 動 資 産	55,113,999
現 金	(40,560)
普 通 預 金	(573,439)
三和銀行茨木西支店	567,435
日本興業銀行大阪支店	6,004
定 期 預 金	(44,500,000)
三和銀行茨木西支店	9,500,000
摂津信用金庫本店営業部	25,000,000
日本興業銀行大阪支店	10,000,000
有 価 証 券	(10,000,000)
日本興業銀行大阪支店	10,000,000
2. その他の資産	139,715,776
投 資 等	
将軍山会基金積立	
普 通 預 金	(454,119)
住友信託銀行高槻支店	175,687
日本興業銀行大阪支店	278,342
有 価 証 券	(7,220,000)
日本興業銀行大阪支店	7,220,000
金 銭 信 託	(52,041,657)
住友信託銀行高槻支店	52,041,657
貸 付 信 託	(15,000,000)
東洋信託銀行茨木支店	15,000,000
将軍山会基金 2 積立	
貸 付 信 託	(65,000,000)
東洋信託銀行茨木支店	65,000,000
合 計	194,829,775

※預り金 昭和56年度徴収昭和57年度山桜会費

国際交流の
橋渡し

国際交流は、校友会顧問の佐藤良和先生が、上海師範大学の顧問教授になられたのを機に、上海師範大学と追手門学院大学の交流関係を図ろうという意見からのスタートです。十月中旬、佐藤先生が上海師範大学で開かれる学会に出席（この会報がお手許に届くころは、すでに出発）されます。その学会前、校友会有志が自費で訪中し、佐藤先生と合流して国際学術交流のパイプ作りのため、上海師範大学関係者と会合を持つ計画です。具体的進展が見られれば、会報でお知らせしますが、当面、相互が知り合い、訪問し合える体制づくりを目指し、短期の教員交換から着手したいと考えています。これらの二十五周年記念行事に係る予算につきましては、三ページ右側に掲載している「消費収支予算書」に示している金額で編成しています。その項目を説明しますと、「新入会員登録・住所変更等名簿完備費」。平成元年度は名簿発行がなかったためにゼロ消費でしたが、二十五周年を機に名簿の発行を行なうことが決まりましたので、先般送付させていただきました。調査票等の費用として百五十万円計上致しました。また、「支部設立準備費」においても、かねて東京、金沢の支部設置を呼びかけていますが、現時点でまだ、設置に到っていません。なんと

ご 注 意 を

依然として、会員のお宅に「同窓会ですが」と電話をかけ、勤務先や勤め先の電話番号などを聞き出すということが、よくあるようです。事務局から、会員の皆様にお電話するときは、「同窓会」の名称は用いません。また、必ず、担当の氏名を申し上げますし、よほどのことがない限り、電話はいたしません。ご不審の折は事務局まで再度、お問い合わせ下さい。

か、二十五周年事業と合わせ、東京支部の設置に漕ぎつきたいと考えています。再度、呼びかけさせていたきますので、東京、金沢地区に在住の方々への加入をお願い致します。名簿の発行には二百五十万円を計上しました。大学の四半世紀を記念して発行する名簿です。一期生、二期生の諸氏、一度「あいつはどこに居るのだろう」と同窓会を開いてみませんか。名簿はそんなお約に立てれば……というものです。モノ売りの方々にはお売りしていませんので、予約以外の予備冊数はほとんど用意しません。だからコストもかかるのです。卒業生の方々で、「一冊購入するなら、一ページ広告を出してやるう」という方が居られれば、事務局までご一報下さい。後は「宮本輝記念文庫」「大学創立二十五周年祝賀会」「国際交流事業」にそれぞれ、五十万円予算計上しました。

開学25周年 記念事業を計画

講演会・祝賀会 開催

今年、私たちの母校は、開学二十五周年を迎えます。

この二十五年の間に、一八二二四名が学部や大学院を卒業・修了し、各方面で活躍しています。

ただ、残念なことには、四十六名の校友が他界されていることです。また、その他に、住所などが不明の校友が一七九四名もいらっしゃるのです。

特別会員の現・旧教職員の方々の総数は、四百五十二名、御逝去された方々は四十二名。現況不明の方が四十一名、おられます。

校友会は、正会員・特別会員の名簿原簿の完備が最も重要な仕事のひとつでありますので機会あるごとに調査を続けてまいりました。

開学二十五周年を祝って

会長 関 謙 二

今回も、不明者一覧を作成し、本報と共に校友会会員各位にお送り致します。どうか、お目通しの上、一名でも多く、不明の方々が少くなるように、御協力をお願い致します。

母校開学二十五周年を記念して、私どもはいろいろな記念事業を計画いたしました。

既に、一部は、前号の会報でお知らせしておりますが、詳細は、本報と次号会報でお知らせ致します。

記念事業の一つ、記念講演会は、開学当時の恩師・竹村健一先生の御快諾を得まして、来る七月二十日（土）午後二時より、茨木の市民会館で開催いたします。同じ日の夕刻、六時から、千里（中央）阪急ホテルで祝賀のパーティーを開きます。ど

うか、多数の会員が参集されますよう、お願い申し上げます。

母校開学二十五周年を契機に、私たち校友会は、母校が

① 学部や学科が適正に増え、母校が大きく発展する。

② 教育や研究が質的に向上し、社会的な信頼を受ける母校に成長する。

という未来の姿を描きながら、母校発展への寄与を積極的に進めなければならぬと、痛感しております。

校友会会員各位の、一層の御活躍をお祈り申し上げ、校友が相集い、こぞって協力しようではありませんか。

この校友会会報（第39号）には、開学二十五周年に当たる母校の現況を知って頂くため、学報・「藍風」第四号を同封しております。

将軍山会報

発行者
☎567
茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 関 謙 二
☎0726-43-5421 内線451
編集者
佐 藤 新 二
© 1991

校友会会員名簿（第二号）を刊行。

二十五周年を記念し、最新データの名簿を刊行します。申込みは早目に。本会報に名簿申込みの振込用紙を同封しています。

7月20日、記念講演会と祝賀会
恩師・竹村健一先生による記念講演会は午後二時から、茨木市民会館。午後六時から千里阪急ホテルで祝賀パーティー。

新役員の英知に期待 関会長は学校法人理事に

校友会では任期満了による役員改選を迎え、みなさんに新役員の推薦をお願いしていました。さきごろ、推薦候補者に集まっていただき、評議員会、理事会を相次いで開催いたしましたところ、次の新体制が決定したので、ご報告致します。

△会長
関 謙二（昭45済）

△副会長
平野 昌雄
（常任理事会議長、昭45済）

△名誉理事
大橋 陽一（昭46済）

△常任理事
宮本 正仁（作家・宮本輝、昭45英）

△顧問
鶴 毅（昭45済）

岡田 惇（昭45済）

小坂井俊夫（昭46済）

蟻柴 潤一（会計担当、昭49社）

川中 士郎（昭49営）

口村 一郎
（東京支部設置担当、昭51心）

佐藤 新一（会報担当、昭58東）

朝野 浩行（会報担当、昭62営）

△理事
鳥野 博文（昭46心）

福井 教男（昭47済）

佐々 進一（昭48済）

吉田 浩幸（昭50社）

高井 郁子（昭53心）

北井 一史（昭56済）

芳田 茂樹（昭63院心）

△評議員
徳田 俊郎（昭51社）

丹 恵美（昭52営）

服部 隆司（昭55営）

伊藤 真一（昭57営）

学校法人 追手門学院の役員 について

学校法人追手門学院は、ことしの初夏に役員改選を行いました。校友会として、創立後四半世紀を経て、卒業生は年々増加し、最高学府の卒業生から見た運営意見を、今後厳しくなるであろう私学運営に役

△会計監事
森 嘉一（昭51済）
宮本 幸治（昭51英）
△顧問
佐藤 良和（昭51院心）

立てて頂きたく、かねて役員枠の割り当て増加を求めてきました。

法人役員の評議員については、従前は卒業生から選任される十二名の枠を、山桜会九名、校友会三名としていました。これは昭和六十二年の改選期に、初めて校友会に役員選出の話があり、最初でもあり、勉強のために、評議員として三名が参加。評議員の互選による十名の理事は山桜会から二名出て頂いてましたが、今改選期には、すでに人数的に小・中・高校生を上回る卒業生の意見を反映させるべく、評議員六名の確保を目指していました。

しかし、今期の改選前、中川・本部署務局長からの連絡は、前回同様評議員三名とのことでしたので、中川局長、山桜会の梅垣会長、川原副会長、本会の関会長、大橋副会長らが会合、十二名の人数を山桜会七名、校友会五名とすることで合意し、次回には六名ずつの選出人数を確認しました。

その後に行われた改選で、校友会から▽関会長▽平野副会長▽大橋副会長▽宮本名誉理事▽小坂井常任理事の五名を評議員に選任。関会長は、学校法人追手門学院の理事に選出されました。

この五名の方々には、追手門学院大学の発展のみならず、幼稚園、小・中学校、高等学校を含めた、追手門学院全体の運営に關与して頂き、母校の発展に貢献して下さいようお願いしたいと思います。

第二十四回 将軍山祭はじまる

11月	行事内容	場所	時間
2日	体育祭	グラウン	9時
3日	演武祭	学生会館	10時
3日	ダンスパ ーティ	体育館	16時
3日	P・H・ I・J	敷地内	10時
3日	野外ステ ージ	高校前駐 車場	10時
4日	英語劇	学生会館	10時
4日	ダンスパ ーティ	学生会館	16時
5日	映画上映	学生会館	10時
5日	後夜祭	グラウン	16時

みなさんが追手門学院大学を卒業されて、何年経ったでしょうか。

大学の入口には立派な校門が建ち、一号館前のスロープは全てやり直され、赤いタイルが色鮮やかに映えています。今秋の台風では、食堂南側の直径六十センチメートルほどのポプラの木が、風で倒れて伐り除かれました。

ことしの大学祭・将軍山祭を訪れてみて下さい。小さな変化や大きな変化に気付くハズです。何かの機会に自分の眼で確かめてみては……そんなキッカケを将軍山祭で体験してみて下さい。

原点に戻ると、自分の変化が見極められ、先が見えるのでは？



また、協議の折、私たち校友会より金五十万円、ワープロ一台を上海師範大学に贈呈致しました。
以上のように今後の交流をさらに深める内容で会談を終えました。
会談を終えホテルに送ってもらい、夜の町並みを見ていました。
このホテルは高層ホテルでとても景色がよいのですが、窓から見る夜の景色は暗く、電燈も少なくとても寂しい風景でした。
やはり日本と違う寂しき、経済的なゆとりなさを感じました。
十四日は朝六時半にホテル前に集

本会から記念品を贈呈 ——初交流にあたって——

合。
大学にて朝食を終え、観光の為、車で約三時間程は離れた桃園へ出発。中国伝統の建物や工芸品などをたくさん見学しました。
昼は、上海師範大学校友会副会長であり、現在石油化学コンビナートの副社長をされている方にコンビナートの工場を案内していただき、数々の生産工程を勉強させて頂きました。コンビナートは、昔日本軍が侵略した土地でもあり、三井、東洋の技術提供により一九七五年位に開業されたそうです。
国内の原油で成り立っており、新しい技術も導入もしてはいけないうえに、今後の中国の発展に大きく貢献するコンビナートであると思いました。
その後、佐藤先生が設立時指導に当たられた上海師範大学付属第二中学（高校）を訪問しましたが、ここでは日本にない程の教育環境の良い中学（中・高校）を見学させて頂きました。
特に、ビデオや音響システムが揃っており、パレエや演劇をすることのできるスタジオには驚きました。
とうてい一日では中国を理解する事など出来ませんが、この日は一日中、いろいろな場所を案内してもら

い、通訳の方と車の中でいろいろな話をし、中国の生活状況、文化、習慣など勉強させて頂きました。
その夜、夕食の後、少し自由時間もとれたので、上海の夜を見に行きながら、それぞれ頼まれた葉、おみやげを買いに市内に出かけました。
上海の繁華街は映画などに出てくる町並みでファッションな女性も数多く見られました。しばらくタウンウォッチングをしてホテルに帰り、メンバー全員で今回の交流会の意義を改めて確認し、夜遅くまで話にふけてしまいました。



帰りの飛行機では、午前九時三十分出発の飛行機が遅れて、午後三時三十分出発になるというハプニングもあったりで、本当にいろいろな事があった短かい交流視察でした。
この校友会交流視察を通じて、上海師範大学校友会のメンバーより心から伝わる暖かさ、感動を受けました。
身近な中国との交流の大切さ、今後して行かなければならない校友会の役割を、もう一度見直すいい機会になりました。
（→ 附属第二中学にて
↑ 覚書に署名する両校友会長）

三月二十二日、本会の関会長、平野副会長が、上記視察記に書かれている覚書（備忘録）の通り、上海師範大学校友会を訪問するべく出発します。
本会が具体的着手の第一段階として提案するのは、上記三の項目の、1と4から着手しては？ というものです。九二年度、双方が学者を派遣し、学術交流を行うことで、校友会同志の交流が大学の中にまで拡大していけば——と願っています。
また、本会が計画する開学二十五周年記念事業を、上海師範大学の方々にも見届けて頂きたく、本会理事会で確認した御招待者・上海師範大学学長、校友会会長様と先方の人選していただいた方一名の御返事を伺いに行きます。本会で考えているのは、七月十五日から訪日していただき、滞在期間中は役員たちが責任をもって応対、約一週間のお世話をさせていただきます。すでに文書で御連絡（二月十九日発信）していますので、三月二十五日、本会顧問で上海師範大学の顧問教授・佐藤良和先生の立ち合いのもと、覚書の調印になる予定と思います。
このことにより、両校友会がまた一歩、交流を深めるための前進をしたことになるでしょう。

上海師範大学との交流 第二回訪問団が出発

上海師範大学に交流視察

理事 北井 一史

私達の校友会と上海師範大学校友会との国際交流の目的と役割が理事会で説明され、私は是非参加したいと思い、今回の交流会のメンバーの一員として参加致しました。近くて遠い国であった中国との交流は、私たち校友会にとって大変意義のあるものになりました。



上海師範大学国際交流所で

私たちのメンバーは佐藤上海師範大学顧問教授（本会顧問）、関校友会会長を始め大橋副会長、蟻柴常任理事そして私の五人のメンバーで上海に出発致しました。
それが日常の業務の忙しいメンバーです。十月十三日、十三時三十分伊丹発、十月十五日昼帰国という二泊三日の強行スケジュールとなりました。
私たちは、佐藤先生のご尽力もあり、中国の国賓に準じる待遇で行った為、驚いた事に空港の出国検査は顔パスで通過。
空港では、上海師範大学の副学長をはじめ学校関係の方々、そして追手門学院大学からの短期留学生の村松さんたちが迎えに来てくださり歓迎を受けました。
空港から大学までの道のりの間、私は見るものすべてが別世界のよう、上海の町並みを見て想像以上に

相互の交流に向け 覚書に調印

その夜、追手門学院大学校友会と上海師範大学校友会とは、熱心で内容のある意見交流が行われ、互いの

遅れているのにびっくりしました。信号もほとんどなく、何度となくヒヤッとする程、交通規制が整っていない、やたら自転車が多い国だなあと感じました。
そうこうしているうちに上海師範大学に到着、まずはこの大学のスケールの大きさ、環境の良さにびっくり。というのも学生はすべて大学内の寮に寝起きし、先生やその家族も大学校内で生活しており、又上海の小・中（高）校の教師の80%以上はこの大学の卒業生で、皆さんとても優秀

である事などをお聞きし、この大学となら交流を深めたいと思ったぐらいいでした。
校内を見学後、外賓館にご案内して頂き、あり余る夕食をごちそうになりました。
今まで中華料理は油濃というイメージが強かったのですが、上海の料理はあっさりとしていました。また紹興酒を醸造させた花彫酒は料理と合い、たいへんおいしくいただきました。

校友会の発展のため、今後は多方面にわたる交流を進めようと、左記の共通認識を確認しました。
一、今後双方の校友会は交流を深める為、来年三月追手門学院大学校友会より代表団を派遣して上海師範大学を訪問し具体的な項目を討議する。
二、平成三年五月～六月に上海師範大学校友会代表団が追手門学院大学を訪問する。
三、平成三年三月、双方の相談による今後の決定内容。
①相互に学者を派遣して学術交流と講義を行う。
②相互に青年教師又は学生を相手校に派遣して研修を行わせる。
③双方の付属中学又は関係のある中学は交流を進める。
④相互に関係図書、資料及び設備の交換提供を行う。

記念行事を協議

母校創設二十五周年の記念行事を計画した本会は、昨年十二月十四日、常任理事、理事、評議員の方々に集って頂き、会報38号でお知らせした①校友会会員名簿の発行②二十五周年記念祝賀会・講演会の開催③初代学長・天野利武先生の胸像に關しての周辺整備——などを議題に協議しました。講演会は五百人規模で計画。著書な文化人で母校とゆかりある人に講演をお願いしたい方向がまとまり、恩師・竹村健一先生をお願いすることを申し合わせました。

その後、二月八日の正副会長会議でまとめた素案をもとに、二月十七日に理事会が召集され、記念事業に係る計画内容を審議。七月二十日に二十五周年記念講演会を茨木市民会館で、祝賀パーティーを場所を移して千里阪急ホテルで開催する。講演会は一般公開で無料開放、祝賀パーティーは会員一名につき一万五千円、ペア参加（一人は本会会員）は二万五千円の会費で。記念品としては、オリジナル・ペーパーウェイトを作製することなどを取りまとめました。

会員名簿の刊行
予約限定で販売

校友会会員名簿の刊行につきましては、繰り返し申しますが、校友会が卒業生の動向について、常に最新データで保存しておく使命から行うものです。

すでに調査票を皆さんのお手許にお送りしましたが、ご返送の数が余りに少な過ぎましたので、再度、ハガキで早期のご返送をお願いした次第です。平成三年六月の刊行を目指していますので、ご協力を重ねてお願いします。

役員会では、校友会会員名簿の価格については前回同様、一部一万円で頒布することを決定。卒業生に対する予約限定販売することとし、卒業生と偽って購入を申込みれる方々のチェックは従来通り、厳重に行っていきます。しかし、このようになりますと、名簿作成費用が予算オーバーになります。皆さんが納入していただいた終身会費の果実で会を運営している以上、基金は取り崩すことは出来ません。そこで前回の発行と同様に、広告掲載ページを設定し、皆さんから協力いただくことで作成費用を捻出したいという結論に到りました。

卒業生のみならず、勤務先各企業、関係先での広告掲載をお願い致します。申し込み用紙は、今会報に同封しております。

広告掲載誌は広告主一件に一冊、贈呈致します。一部では、心ない広告主から商業ベースに名簿が流れるのではないかと。名簿を商売で使う会社には卒業生が勤務している場合はどうする？ などなど、心配する意見も出たため、名簿に通し番号を付けて、所持者管理を行うことが発刊に際しての検討課題となりました。

名簿の取り扱い、皆さんの良識ある対応が得られるならば、これらの問題は事前に解決しているのですが……。

付記しておきます。依然、校友会と関係のない営利を目的とする人から、名簿を発行する——と文書が届けられるケースがあるようです。一例を挙げますと、校友会事務局に名簿の代金を振り込んだのですが、まだ出来ないのですが？ との電話がありました。卒業生の父兄からだったのですが、話を聞くと校友会が委託したような文面だったのを知り、問い合わせの電話を掛けると、すでに使用番号から消えていたらしいです。このような詐欺も発生していますので、くれぐれもご注意ください。

宮本輝文庫を
母校に寄贈

会報の前号で「大学図書館は間もなく拡大移設される」と書きましたが、昨年十二月十四日に開かれた学法人追手門学院の理事会において、大学図書館の拡大移設は十年先の長期計画に組み込まれる決定となりました。冒頭に、不確定情報をお知らせしたことをお詫び致します。

母校は現状の設備と資産内容では、学部、学科の増設が不可。出生人口が減少し、他大学ではユニークな学部、学科の新設で学校経営を考える時期に、大学創設三十周年に焦点を合わせた校舎増設、設備改善の計画

を打ち出し、大学図書館の拡大移設はその五年先——というのだそうです。（編集Ⅱ新二の主観が入り過ぎていましたから失礼）

ともあれ、大学図書館の拡大移設が十年先になりましたが、宮本輝文庫は記念事業の一つとして、母校に寄贈致します。宮本氏の「青が散る」の舞台となった追手門学院大学。われわれの同窓生の作品を、これを契機に拡充していただき、他の分野で活躍する同窓生についても、母校が地味な形で支援して欲しいと思っています。専門書棚は木製、九州・大川家具で規格を定めて制作していただくことにまとまりました。

竹村健一先生
より著書寄贈

「將軍山会報」を送付頂きありがとうございます。

嘗て教えた一員として何か御協力を、と思ひ私の著作の一部をサイン入りで贈らせて頂きます。図書館にでもおいて下さい。

益々の発展を祈ります。

竹村 健一

寄贈図書名目録

私も原動力が怖かった

（サイマル出版会）

逆立ちすると違った世界が見える

（徳間書店）

原点・竹村健一

（講談社）

竹村健一のこれであえんや英会話

（三修社）

日本国大改造論

（祥伝社）

日本は封じ込められるか

（太陽企画出版）

竹村健一のジャパニーズ・ドリーム

（徳間書店）

ゴールデン・ナインティズ

（新森書房）

「度はずれ男」の行動学

竹村健一

・ロッキー青木成功の条件

（山手書房）

右脳をシゲキする竹村健一のおもしろ読本

（太陽企画出版）

豊かな日本人になるための80章

（太陽企画出版）

新しい世界地図

（太陽企画出版）

新自分の会社を持ちなさい

（太陽企画出版）

日本の進路シリーズ

ハイテク・ニッポンSOS

（太陽企画出版）

「勝ちぐせ」をつける！

（三笠書房）

ユダヤの帝国（上・下）

（竹書房）

母校の記念資料
室よりのお願い

記念資料室では、今、一期生や二期生の制服その他の品じなを集めています。ご協力下さい。次のところへ、お電話下さるか郵便でおしらせ下さい。

567 茨木市西安威二一——一五

追手門学院大学記念資料室

電話〇七二六—43—五四二二（胸

永まで）